病院と薬局の垣根を越えてつなぐ、がん薬物療法支援。
明日から使える「地域医療連携の実践知」がこの一冊に。

薬剤師が実践する がん治療の 地域医療連携事例集

編集 一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 地域医療連携委員会

外来・在宅治療が中心となった現在のがん薬物療法では、治療の複雑化や副作用の多様化に対応するため、医療機関と地域との連携がますます重要になっています。

病院薬剤師が治療方針や経過を地域につなぎ、薬局薬剤師が生活により近い立場から服薬状況や副作用の兆候を捉えて医療機関へフィードバックする―。本書は、病院薬剤師と薬局薬剤師がそれぞれの専門性を活かして協働し、患者を支えるための実践的な事例集です。



1 レジメン別の連携ポイントがわかる

代表的なレジメンについて、病院薬剤師・薬局薬剤師の立場から、「どのタイミングで」「どんな情報を集め」「どう提供するか」をタイムライン図等でわかりやすくまとめています。(➡ 裏面参照)

2 多様な現場のリアルな協働事例を収録

病院・薬局・在宅といった多様な現場における連携の工夫をはじめ、薬物治療支援アプリの活用や副作用対策の地域的統一など、具体的な取り組みを紹介しています。

3 「現場の葛藤」や「失敗からの学び」にも焦点

単なる成功例だけでなく、地域性や施設特性といった制約のもとで連携を模索した「現場の葛藤」や「改善への試行錯誤」といったプロセスを描いており、明日からの業務にすぐに役立つヒントが得られます。

B5判/319頁/定価4,950円(本体価格4,500円+税)

株式会社 薬事日報社
本社：東京都千代田区神田和泉町1番地　TEL：03-3862-2141　FAX：03-3866-8408
支社：大阪市中央区道修町2-1-10　TEL：06-6203-4191　FAX：06-6233-3681
ホームページ：https://www.yakuji.co.jp/　オンラインショップ：https://yakuji-shop.jp/

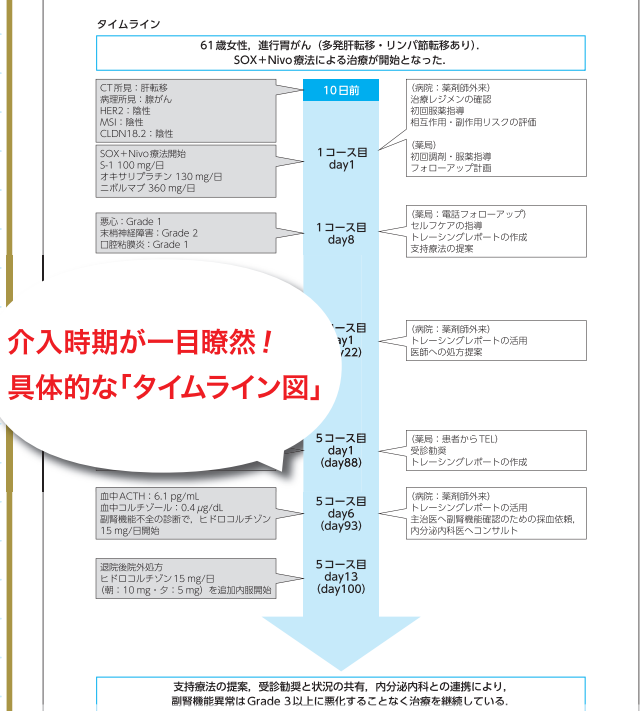
目次

第Ⅰ章　がん治療と地域医療連携

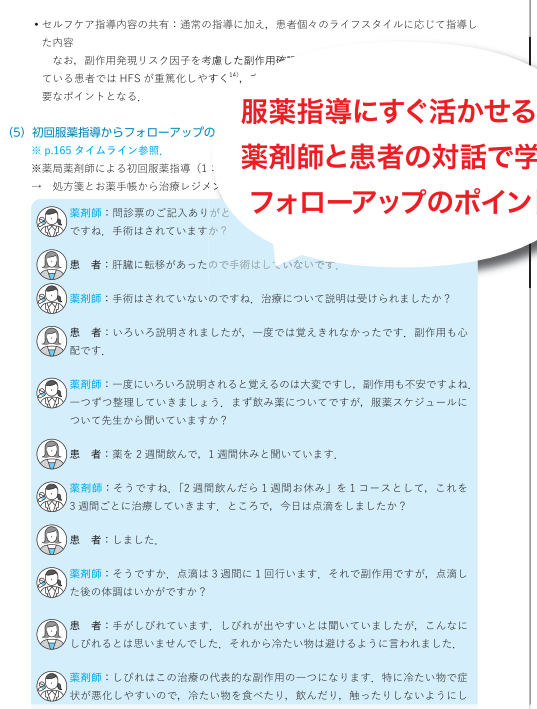
1．がん治療を取り巻く薬剤師の役割
2．がん治療における地域医療連携
3．副作用評価
4．がん治療におけるアドヒアランスの重要性と評価方法
5．調剤後のフォローアップ
6．トレーシングレポートの記載方法
7．薬局におけるがん患者からの情報収集とその方法

第Ⅱ章　がん治療の地域医療連携における事例

各がん種の**一次治療**を想定。現場のリアルな実践手順がこの一冊に。



介入時期が一目瞭然！
具体的な「タイムライン図」



服薬指導にすぐ活かせる！
薬剤師と患者の対話で学ぶ
フォローアップのポイント

【病院薬剤師】と【薬局薬剤師】それぞれの立場からの確認・介入ポイントを並記。さらに一連のフォローアップがどのような転帰をもたらしたかまでを網羅しており、地域連携の成功プロセスを追体験できます。

▼ 第Ⅱ章 収録領域 ▼

肺がん/乳がん/胃がん/肝細胞がん/膵臓がん/婦人科がん/大腸がん/前立腺がん/血液がん/がん性疼痛

第Ⅲ章　がん治療の地域医療連携への取り組み

1．がん薬物療法における調剤業務の注意点と地域医療連携事例
2．連携ツール
3．がん治療の地域医療連携モデル
4．ICTを活用した連携
5．アプリを用いた連携（ePRO事例）
6．研修会の開催と運営（診療報酬・調剤報酬関連）
7．症例報告作成の意義とポイント

書籍の詳細はこちらから
（電子版も発売中）